

1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成 20年 8月 21日

【評価実施概要】

事業所番号	0770700748		
法人名	株式会社 エコ		
事業所名	グループホーム 楓の里		
所在地	〒962-0116 福島県須賀川市西田町9-3 (電話) 0248-72-4818		
評価機関名	NPO法人福島県シルバーサービス振興会		
所在地	〒960-8043 福島県福島市中町4-20 みんなのビル302号室		
訪問調査日	平成20年7月15日	評価確定日	平成20年8月27日

【情報提供票より】(平成 20年 6月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 12月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤	16人, 非常勤 0人, 常勤換算 14.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	2階建ての 1 ~ 2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000円	その他の経費(月額)	4~10月 9,000円 11~3月 12,000円	
敷金	有()円 ○ 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 無 19,950円	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,200円	

(4) 利用者の概要

利用者人数	15名	男性	1名	女性	14名
要介護1	5名	要介護2	2名		
要介護3	7名	要介護4	0名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 81.1歳	最低	64歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	佐藤心療内科、円谷歯科医院、すずき歯科医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

東北自動車道須賀川インターに近く、交通の便の良い住宅街にあり、公園、果樹園などが隣接する静かな生活環境である。近くに公民館や小学校があり、公民館行事への参加や近隣の子供のボランティアが多く訪れ、地域に溶け込んでいることがうかがえる。また、管理者は職員一人ひとりの様々な相談に応じ、職員が安心して働ける環境づくりに努めており、管理者を中心に職員のチームワークが良く、利用者の表情が穏やかで笑顔が印象的である。地域密着型サービス事業所として全職員が認知症支援地域ネットワーク「この葉ネット」に加入し、地域活動に努めている。

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回外部評価の結果を全職員で検討し、改善に向けて取り組んでいる。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者や職員は評価の意義を十分に理解しており、自己評価は日々の介護を見直す良い機会と捉え、全職員で取り組んでいる。それによって支援方法や改善課題を把握し、検討することにより業務の向上に努めている。
重点項目②	運営推進会議のメンバーは家族の代表、地域老人会、地域区長、民生委員、地域包括支援センター等で構成されている。内容は利用者の状況はじめ運営の現状、事業所の啓発、事業所の行事、地域行事への参加、地域との交流連携の強化策等で回を重ねるごとに活発な意見が出され、運営推進会議の意義を活かした取り組みを行っている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族の率直な意見の把握の一環として目安箱を設置し、意見や要望等の収集に努めている。また、面会時には管理者や担当職員が利用者の状況等を報告し、気軽に意見や要望を言いやすい雰囲気づくりにも努めている。家族の意見、要望などは毎朝のミーティングや会議で検討し、運営に反映させる体制となっている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域行事や公民館主催のレクリエーション講座や健康増進体操に参加したり、事業所の行事に地域住民のボランティアを受け入れ相互に交流している。買い物、散歩のときも挨拶を交わし地域の方に声をかけ、関わりを深めるよう努めており、近隣の方が気軽に事業所に訪れるなど地域との交流を積極的に行っている。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「家庭的なぬくもりのある雰囲気大切に地域の人々と交流しながら生きる喜びを感じて暮らせるケアを提供する。」と地域密着型サービスを踏まえた理念を職員全員で作成し、基本方針と共にサービスの実践にあたっている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝のミーティング時や申し送り時に全員で唱和し、理念の共有に努め全職員が理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており地域の行事には積極的に参加し交流している。事業所の行事は広報誌を配布して知らせている。日々の交流を通して地域の理解を深めるよう努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は介護サービスの質の向上の基本であるとの認識から、職員全員で日々のサービスにおける課題を明らかにしながら、評価に取り組んでいる。この評価結果を踏まえ、今後のサービスに活かしていくことにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的に行われ、その結果は職員会議などで全職員に報告し、地域行事への参加やソフト食の導入など取り入れ可能なものから実施している。		定期的に開催されているが、現在年5回の開催となっているので、事業所の行事にあわせて開催するなど工夫し2ヶ月に1度開催されればなおよいと思われる。
6	9				
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族へは月1回定期的に担当職員が利用者の状況等や金銭出納等を報告しており、広報紙では事業所の行事等を知らせている。行事の開催時や面会時にも詳しく報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が意見や要望を言いやすいように目安箱を設置し、面会時等には家族とゆっくり話す時間を持ち意見や苦情の把握に努めている。出された意見等は運営に反映させる体制となっている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人内の職員の異動については十分配慮されており、昨年の異動は1件のみで職員の離職はない。止むを得ない異動については、新旧職員が一緒にケアにあたる期間を設け、利用者へのダメージの軽減に配慮している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人として職員研修に努めており、年間研修計画により経験年数に応じた研修を実施している。研修終了後は記録にまとめ会議等で報告し、知識、技術の共有化が図られている。職員の資格取得についても支援しており、資格取得者には待遇に反映している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全職員が認知症支援地域ネットワーク「この葉ネット」に参加し、研修会や意見交換会を通して交流している。このネットワークを通して同業者とも認知症の家族の悩みや地域の課題などに取り組んでいる。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)	/		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者全員が外に出て、事業所内の畑で野菜作りをしたり、その様子を見学し収穫を皆で楽しんでいる。また、利用者の得意なことや知っていること等を教えてもらいながら、お互いに支えあいながら自然体で生活している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前に利用者や家族の思いや希望を把握し、利用者本位の支援ができるように努めている。入居後は買い物、散歩、入浴等リラックスした状態の時にゆっくり話をして把握するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	定期的にケースカンファレンスやモニタリングを行い、利用者、家族との話し合いや職員の気づきなどから利用者本位の支援ができるように介護計画を作成している。また、必要に応じて医療機関に相談したり、他のサービス事業者の意見も参考にし、サービスの質の向上にも努めている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な介護計画の見直しのほかに利用者の状態の変化等に応じて計画の見直しを行っている。介護計画変更時には家族に説明し、同意を得ている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)	/		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族が希望するかかりつけ医を受診しており、家族が同行している。協力医の受診には職員が同行し、結果を家族に連絡している。また、6月から月2回協力医療機関に往診をしてもらっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に対する指針を定めている。入居時に利用者や家族の意思の確認を行い同意を得ている。家族や医療機関と連携し、職員全員で方針の共有をしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	管理者は全職員が日々の支援の中で利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応の徹底を図っている。「個人情報使用に関わる同意書」については家族に説明し、同意を得ている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の体調や思いに配慮しながら支援している。買い物や散歩等、一人ひとりの希望を大切に支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは法人が管理栄養士に依頼しているが、施設内の畑で利用者が作った野菜を使用することを基本としている。食事の仕度は利用者ができることを自然に行っており、また職員も利用者と一緒に会話をしながら食事を楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴できる体制をとっており、時間も利用者の希望により支援している。体調により入浴できない場合には、清拭や足浴等を行っている。菖蒲湯やゆず湯等習わしや季節にあった楽しみも提供している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	事業所の畑での野菜作りや、キノコの菌植え付け、花壇の手入れ等もそれぞれが楽しんでいる。また料理、掃除、洗濯物たたみ、カーテン引き等利用者が出来ることを自然に行っており、一人ひとりの生活能力が発揮できるよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	買い物や散歩等利用者の希望にそって支援しており、個々にドライブ等にも行っている。また、お花見、牡丹園、つつじ見学、牧場見学等外出の機会を多く計画し実施している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害を認識しており、きめ細かな見守りとさりげない声かけで対応し、日中は鍵をかけていない。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は年2回実施しており、消防署立会いのもと夜間を想定した訓練を実施した。今後、様々な状況を想定しての訓練を検討中である。また、災害時の食料品、飲料水は3日分備蓄されている。		地域住民との協力体制ができているので、今後はホームの防災訓練時に参加要請をし、更に連携を密にされることが望ましい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事のおおまかなカロリーは把握しており、一人ひとりの栄養摂取量や水分摂取状況をチェック表に記入し、利用者の健康管理に役立てている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は広く、ソファやテーブルが機能的に配置されており、ユニットごとにある和室は掘りごたつになっている。また、共用空間全体が生活観や季節感を取り入れ、居心地良く過ごせるよう工夫されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が使い慣れたテレビや冷蔵庫等を持ち込み、家族の写真、作品を飾り居心地よく過ごせるよう支援されている。		

※  は、重点項目。

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 グループホーム 楓の郷

記入担当者名 荒川 トシイ

評価結果に対する事業所の意見

特になし

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目No.を記入してから内容を記入してください。